

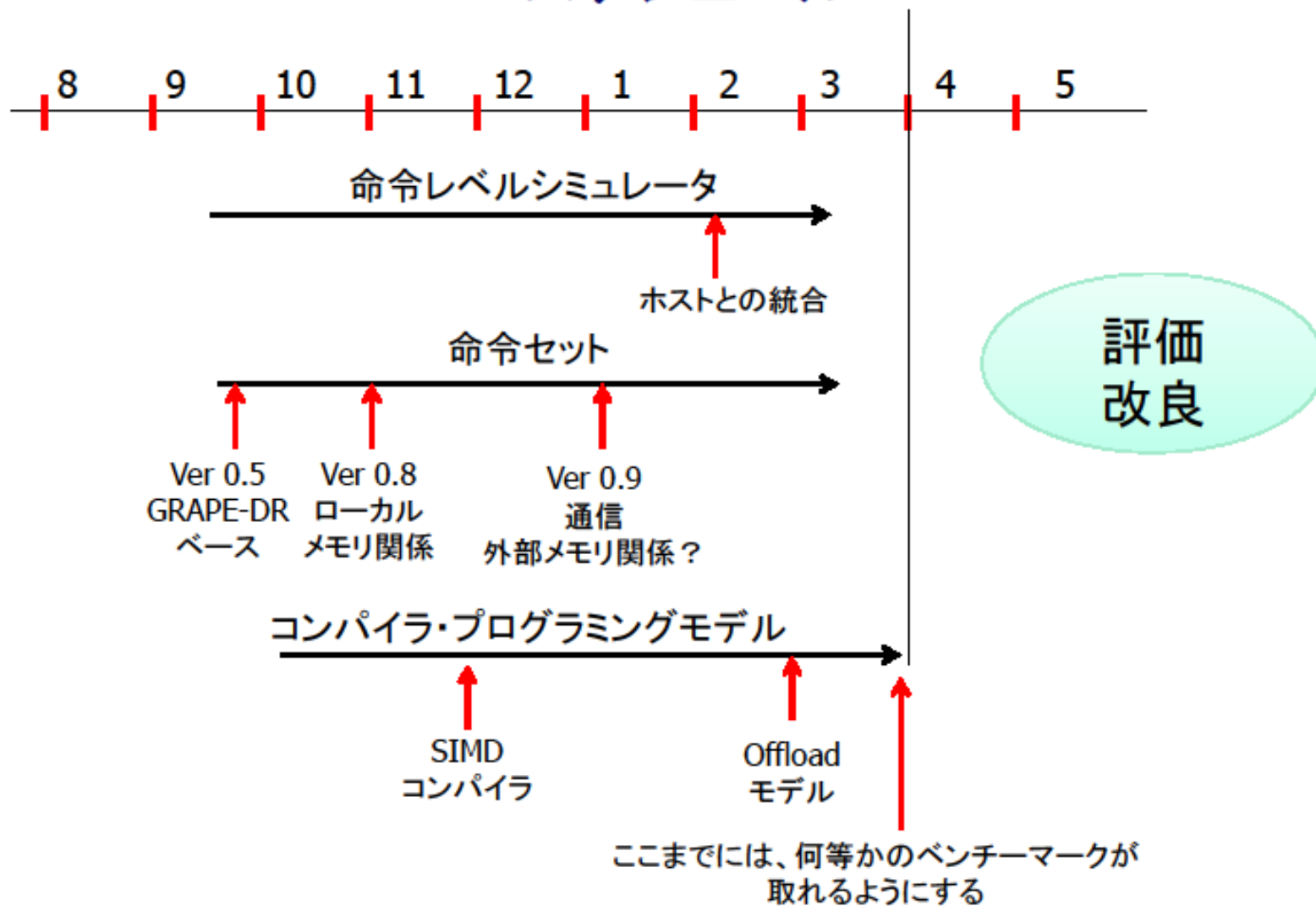
筑波大FSチーム状況報告

高橋大介

筑波大学システム情報系

計算科学研究センター

スケジュール



アプリケーションの準備の仕方について

- 3, 4本を取り上げて, ケーススタディをする. メモリとコア数. ネットワークのトポロジーなど.
- 筑波大FSでは, まずはQCD, N-body, 宇宙流体, FDMのミニアプリで評価(今年度いっぱい).
 - 4つのうち2~3本はミニアプリに加えてもよい.
 - 2013年3月までにベンチマークが取れるようにする.
- その後, NICAM, FMO, RS-DFTについて考える予定(来年度以降).
- OpenACCでカーネル部分をidentifyしてメモリを分離(オフロード)できればよい.

コンパイラ進捗

- OpenACCをベースに開発を進める予定
 - 一部分をoffloadする.
 - Offloadする中の記法については, これから. 特に, ローカルメモリをどのように見せるか.
 - 一応, CのOpenACCのFront-endはできた.
 - OpenACCのoffload部分をCUDAにトランスレートするのは進行中.
- シミュレータについて
 - 評価ができる環境が2012年度末までにできる予定.